

Next

ヒライ信

「ヒライ信」
300
号

VOL.3
2024年8月
令和6年8月
第300号



このQRコードを読み取ると
「ヒライ信」のOne Drive
をご覧ください。

かくしゅつ 塾長 平井 幸雄
たかお

hiraisin@par.odn.ne.jp

「ヒライ信」300号達成!!

1998年（平成10年）9月創刊した「ヒライ信」は、4半世紀・満26年の歳月を経て、2024年（令和6年）8月で、300号に達した。

はじまるきっかけ

遡ること1991年9月に毎月第四水曜日、午後六時半から、東京神田で開催される「ジョークサロン」に入会した。そこには、「ジョークサロン拙作品」として語呂合わせや、ダジャレなど駄作を持ち込んでいた。やがて、職場が茨城県・土浦市になり、単身赴任の生活になった。寄宿先が何度か変わったりし、生活リズムが乱れ、ジョークサロンへの作品提出も不安定になってきた。一方、研修を通じ、社外講師の方々とも交流ができ、その都度いただくお手紙、定期的に届く「さんしょだより」「トローラーの門」など情報誌に刺激され、一方的にいただくのではなく、こちらからも何かを発信しようと思いついた。また、六十歳定年も間近に迫ってきており、自分の中に何かライフワークになるものを見つけなければと思った。今までのような思いつきのジョークでなく、ちょっと知的で、毎回テーマを見つけて、続けていける創作作品にしようと思いついた。高尾（たかお・幸雄）から飛来（ひらい・平井）する「ヒライ信」と洒落て、4・2ページでスタートした。それが「ヒライ信」を創刊するきっかけであった。



継続は力なり

300

さて、はじめたはいいが、続けるのが難しい。さっそく第5号発行の際（1998年12月）、突然顔面神経麻痺で入院。同時期、会社の合併、続けて転勤や定年に伴う仕事の多忙などで、毎月定期発行ができなくなった。何よりもネタがすぐに枯渇した。

第35号（2002年6月）発行の時、定年を迎えた。これからは自由時間がたっぷりあるので、制作時間が取れると張り切ってはみたものの、毎回ネタに苦勞する。しかし、毎月発行するという縛りが、ネタを絞り出す。読んでくれた方々からの返信が励みになる。ジョークサロンのメンバーと共著で本を出版することで弾みがかかった。

おかげさまで定年後のライフワークになった。とりあえず100号までと思って、2007年12月に100号を達成した。友人読者が100号達成パーティーを開催してくれた。そして2008年1月から、NEW「ヒライ信」として200号を達成。この時も友人読者が、200号達成記念パーティーをしてくれた。さらに、2016年5月からNEXT「ヒライ信」として、201号をスタートし、今回の300号の達成である。よく続いたものである。当初は郵送であったものが、いまは、Eメールに添付して送れるようになったこと、勝手にこちらから飛来したにもかかわらず、毎回多くの方から、お礼や励ましの返信が励みになった。今回の300号で長きにわたった「ヒライ信」を閉じます。

長い間ご愛読いただきありがとうございました。

「ヒライ信」300号までのあゆみは、下記URLからご覧できます。

<https://1drv.ms/b/s!AiZK9Kv-HkjarjDePQ7Cx63yF4sy?e=Er0eQc>

